



数学も負けてはいないぞ!

仲村俊也



新しい年を迎えて想う 生かされている者の使命

校長 夏見隆晴

あけましておめでとうございます。本年もどうかよろしくお祈りいたします。そして、皆様の上に主イエス・キリストの祝福が豊かに注がれますようにお祈りいたします。

さて、「生かされている者の使命」という題で文章を書いている人の数は、おそらく数えられないほどに多いのではないのでしょうか。私自身でさえ、同じ題で何回か短い文章を書き、読んでいただいた記憶があります。ただ、わたしは「生きている者」と「生かされている者」の違いは大きいと考えているので、今回もあえて同じ題で皆さま方に読んでいただこうと、拙文をしたためた次第です。

人が「生きていく」ということは、本当に大変なことです。日本思想の用語でいえば、人は誰もが「苦」を背負って生きているというのでしょうか。ところでキリスト教には、「苦難」という考えがあります。キリストの弟子パウロは「ローマ人への手紙」のなかで「すべて悪を行う者には、ユダヤ人はもとよりギリシャ人にも、苦しみと悩みが下る」と教えております。このことは、もちろん日本人にとっても同じです。悪は、人間だれもが避けなければならないのです。でも悪を避けることはたやすいことではありません。ならば苦難は、罪多い人間にとっては避けることのできないものなのでしょうか。

このような問いに対して、聖書はイエス・キリストがみずから人間に代わって苦難を受けられたと教えています。イエス・キリストがこの世で受けられた苦難、十字架上の死という苦難こそ、わたしたち人間が今経験している苦難の意味を解き明かすことができる唯一の鍵なのです。イエス・キリストを信じることからくる苦難であれば、むしろそれは進んで受ける方がよいのです。なぜなら、神の子イエス・キリストご自身が苦難を受けられ、苦難を通して神の栄光に入られたという模範をお示しになっておられるからです。それに、神はわたしたちに対して、耐えられないような苦難は決してお与えにならないのです。

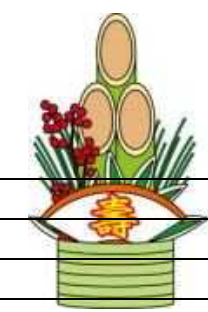
「艱難汝を玉にす」という諺があります。人は多くの苦勞を経験することによって立派な人物になれる、という意味でしょうか。聖書も次のように教えてくれています。「あなたがたを試みるために身にふりかかる火のような試練を、何か思いがけないことが生じたかのように、驚き怪しんではなりません。むしろ、キリストの苦しみにあずかればあずかるほど喜びなさい。それは、キリストの栄光が現れるときにも、喜びに満ちあふれるためです。」(ペトロの手紙：12～13)とあります。わたしたちの苦難は、イエス・キリストが常に共に背負ってくれていることを、信じていけばよいのです。

わたしたちの誰もが神に生かされたものであることを信じて、毎日の子供たちと共に生きていくことができれば、それは素晴らしい使命ではないかと考えております。

新年明けましておめでとうございます。先月は師走と称されるだけあり、慌しく年がこえていきました。でもそんな中で一つだけ印象に残るニュースがありました。それはノーベル物理学賞を日本人が受賞したことです。ノーベルウィーク中は多くのメディアで取り上げられ、生徒の理系離れを感じる私にとってはとても嬉しく感じました。また、ここ数年、ノーベル賞受賞者に日本人が多く選出されていると思えば調べてみると2008年からは2年おきに日本人が受賞していることを知り、あらためて驚いたことを覚えています。さて、そのノーベル賞の部門は主に科学系から構成されているのですが数学賞がないことをご存知でしょうか。その理由は諸説あるのですが、中にはノーベルは数学が嫌いだったためという説もあり、それが事実ならば数学を志してきた私にとっては何とも残念なことです。いずれにせよ、ノーベル賞に数学の分野が設けられていないということから、科学において数学が過小評価されることもあります。数学にもノーベル賞に匹敵する賞が存在します。それはフィールズ賞です。ただし、優れた業績に対して毎年選出されるノーベル賞とは異なり、4年に一度40歳以下の若手数学者の優れた業績を顕彰し、今後の活躍を励ますことが目的です。残念ながら賞金額では大きく引き離されていますが..。しかし、最近賞金額でもノーベル賞と引けをとらないアーベル賞というものも創設されています。俗人ゆえ賞金額から引き合いに出してしまったことをお許し願いたいですが、社会における数学の地位を上げることや、子供たちの興味を刺激することなどを目的としている素晴らしいものです。2003年に初めて受賞式が行われてからまだ日本人の受賞者はいませんが、まだ歴史の浅い賞なので今後が楽しみです。もちろん、本校の出身者であれば尚のこと

このような夢を持ちつつ、今年も数学好きをひとりでも多く増やしていきたいと思っております。今年も宜しくお願い致します。

## 1月の予定



日・曜日	行事計画
7日(水)	生徒集会 授業開始 職員会議 完全下校 16:30
9日(金)	PUP (LHR) Kパック高校1~3年生
10日(土)	総合 Kパック高校3年生
14日(水)	委員会活動
17日(土)	本校前期入試 家庭学習日 センター試験 ~18日(日)
19日(月)	高3自己採点 個人面談 総合学力 高校1、2年生
20日(火)	高校修学旅行 ~24日(土)
24日(土)	英検 3h 中学1年生~高校1年生
28日(水)	職員会議 完全下校 16:30
30日(金)	予餞会

# 生徒の頑張り！

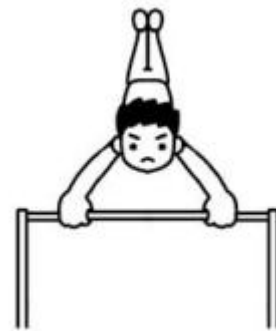
第24回 グレンツェン ピアノコンクール  
中学Bコース 準優秀賞 佐久本 理央 さん



第66回県民大会体操競技

鉄棒 1位

個人総合 3位 中田 海斗 くん



12月14日(日)に宜野湾車イスマラソン大会のボランティア活動  
に参加しました。

毎年参加させて頂いております宜野湾市車イスマラソン大会にてボランティア活動を行いました。  
今年は、例年より多い中学生17名高校生38名の計55名が参加しました。

中学生は、選手の応援をしました。

レース前に本校担当のスペースに移動する様子



高校生は、競技運営に携わり選手の誘導を行いました。



お昼の様子



参加した選手の皆様、お疲れさまでした。  
ボランティア活動をさせて頂きありがとうございました。



定期試験後に関わらず、参加率とテンションの高い高校2年生